

令和5年(1月～12月)労働災害の発生状況

労働者死傷病報告(休業4日以上)の死傷災害により作成
()内の数値は死亡者数(内数)を表す

(1)業種別の労働災害発生状況(対前年比)

2月集計

【表1 業種別の労働災害発生状況】

但馬労働基準監督署

業 種	令和5年(1月～12月)		前 年 同 期		前 年 比 較		
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	
全 産 業	225 (2)	100.0 (100.0)	254 (1)	100.0 (100.0)	-29 (1)	-11.4% (100.0%)	
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業 を含む)	104 (1)	46.2 (50.0)	104 (1)	40.9 (100.0)	()	()	
製 造 業	47	20.9 ()	40	15.7 ()	7 ()	17.5% (-)	
鉱 業	1	0.4 ()	3	1.2 ()	-2 ()	-66.7% (-)	
建 設 業	27 (1)	12.0 (50.0%)	26	10.2 ()	1 (1)	3.8% (-)	
運 輸 交 通 業	15	6.7% ()	15	5.9% ()	()	(-)	
貨 物 取 扱 業		()	1	0.4% ()	-1 ()	-100.0% (-)	
農 林 業	10	4.4% ()	14	5.5% ()	-4 ()	-28.6% (-)	
畜 産 ・ 水 産 業	4	1.8% ()	5 (1)	2.0% (100.0%)	-1 (-1)	-20.0% (-100.0%)	
第三次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業 を除く)	121 (1)	53.8% (50.0%)	150	59.1% ()	-29 (1)	-19.3% (-)	
商 業	卸 売 業	3	1.3% ()	5	2.0% ()	-2 ()	-40.0% (-)
	小 売 業	13	5.8% ()	27	10.6% ()	-14 ()	-51.9% (-)
	上記以外の商業	3	1.3% ()	()	()	3 ()	- (-)
	計	19	8.4% ()	32	12.6% ()	-13 ()	-40.6% (-)
通 信 業	5	2.2% ()	11	4.3% ()	-6 ()	-54.5% (-)	
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	40	17.8% ()	43	16.9% ()	-3 ()	-7.0% (-)
	社会福祉施設	28	12.4% ()	33	13.0% ()	-5 ()	-15.2% (-)
	上記以外の保健衛生業		()	()	()	()	- (-)
	計	68	30.2% ()	76	29.9% ()	-8 ()	-10.5% (-)
接 客 娯 楽 業	飲 食 店	3	1.3% ()	()	()	3 ()	- (-)
	ゴ ル フ 場		()	1	0.4% ()	-1 ()	-100.0% (-)
	上記以外の接客娯楽業	10 (1)	4.4% (50.0%)	19	7.5% ()	-9 (1)	-47.4% (-)
	計	13 (1)	5.8% (50.0%)	20	7.9% ()	-7 (1)	-35.0% (-)
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業	2	0.9% ()	()	()	2 ()	- (-)
	廃棄物処理業	6	2.7% ()	2	0.8% ()	4 ()	200.0% (-)
	上記以外の清掃・と畜業	1	0.4% ()	()	()	1 ()	- (-)
	計	9	4.0% ()	2	0.8% ()	7 ()	350.0% (-)
そ の 他 の 事 業	警 備 業	1	0.4% ()	1	0.4% ()	()	(-)
	上記以外のその他の事業	3	1.3% ()	1	0.4% ()	2 ()	200.0% (-)
	計	4	1.8% ()	2	0.8% ()	2 ()	100.0% (-)
金 融 広 告 業	2	0.9% ()	2	0.8% ()	()	(-)	
映 画 演 劇 業		()	()	()	()	- (-)	
教 育 研 究 業	1	0.4% ()	4	1.6% ()	-3 ()	-75.0% (-)	
官 公 署		()	1	0.4% ()	-1 ()	-100.0% (-)	
(陸上貨物運送業)	8	3.6%	13	5.1%	-5 ()	-38.5% (-)	

注、第三次産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、映画演劇業、貨物取扱業、教育研究業、官公署をいいますが、ここでは、非工業的業種の一業種(商業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業)を第三次産業と呼んでいます。